

第6回 買物公園のあり方検討会議

1. エリアプラットフォームについて
2. 未来ビジョン（概案） ※別紙参照
3. R6社会実験（案）について
4. 今後のスケジュールについて

1. エリアプラットフォームについて

◆ (仮称) 買物公園エリアプラットフォーム

【目的】

買物公園エリアの未来ビジョンを策定し、ビジョン実現に向けた取組を共有し、エリアの魅力や価値の向上を目指す。

【役割】

- ・未来ビジョンの策定
- ・ビジョン実現に向けたエリアの魅力や価値を高めるための情報共有
- ・一体感のあるエリアの創出 (情報の一括発信等)

【体制】

- ・事務局は当面、旭川市が担うが、活動していく中での組織体制のアップデートも検討

【取組内容】

◎ 買物公園エリプラ会議の開催

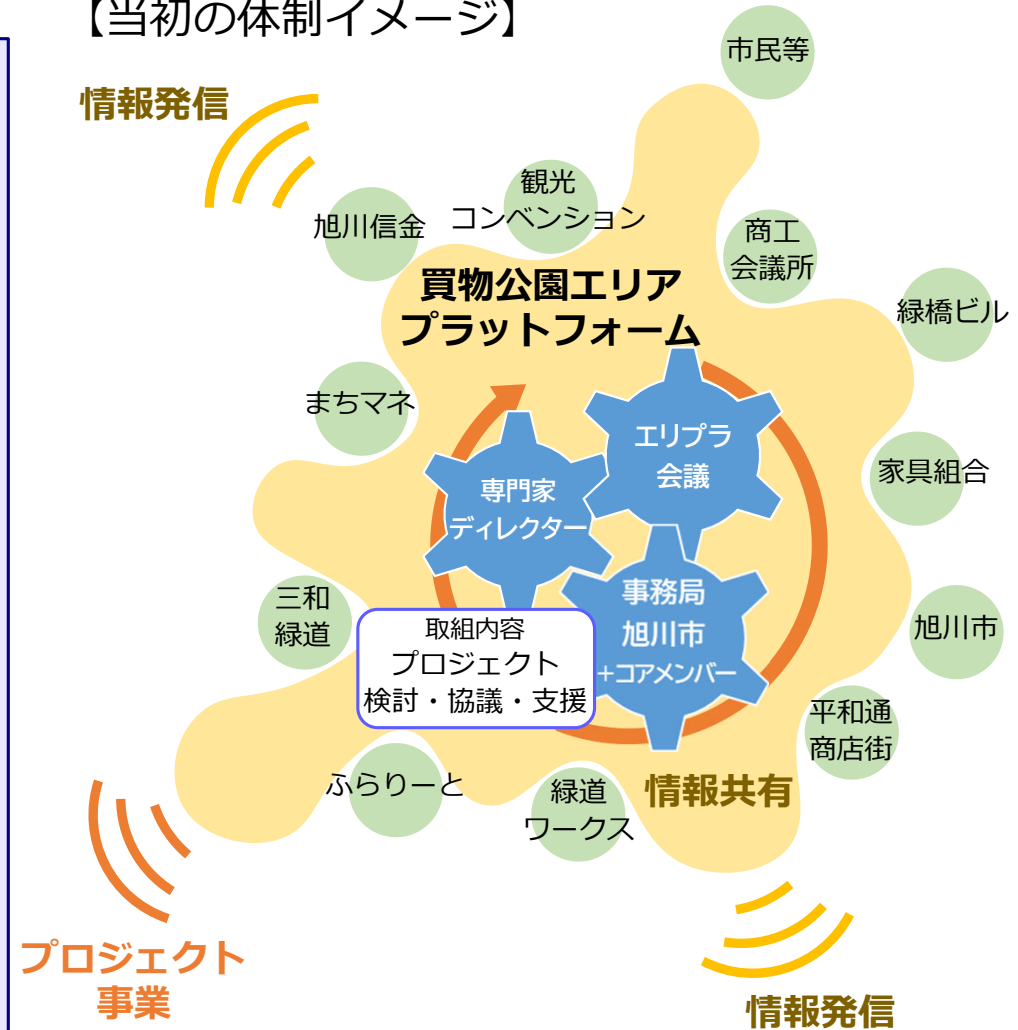
- ・エリアの取組などの情報や現状の課題を共有し、事業者間で協力・連携できることなどの検討 (社会実験ゾーンの活用方法検討)
- ・エリア情報の一括発信についての検討 (初動は現行発信方法で)

◎ プロジェクト事業の検討・協議・支援

- ・ビジョン実現に向けた取組の共有
 - ⇒ 来街促進・滞在機能向上 (目的づくり)
 - ⇒ 回遊促進

※エリプラ自体は基本的に事業主体にならないが、エリプラ内で共同実施する事業は、プロジェクト制で実施

【当初の体制イメージ】



1. エリアプラットフォームについて

～未来ビジョンを実現していくために、取組を推進する組織をつくります～

【初動期】

- ゆるやかに連携する「場」として、主に情報共有を目的に、エリアプラットフォームとしての活動を始めます。
- エリアプラットフォームのメンバー間での情報共有を通じて、**お互い（メンバー）のことや得意なこと等を共有**していきます。

【成長期】

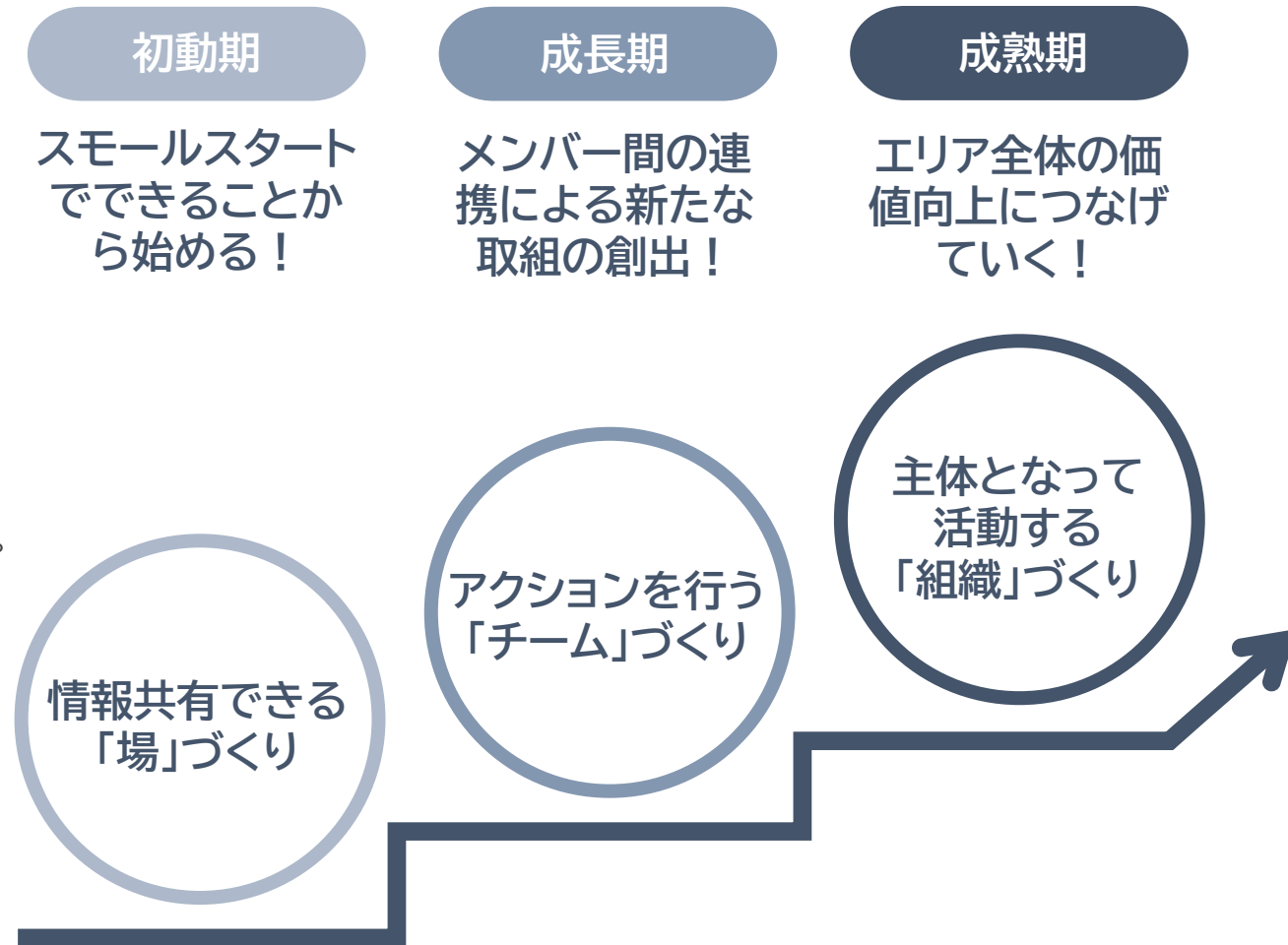
- メンバー間での情報共有を活発化させ、エリアプラットフォームとしての**小さなアクションを試行していくための「チーム」づくり**を行い、エリアプラットフォームとしての実行力を培っていきます。

ex)自走化できる組織（人的・経済的）

【成熟期】

- 将来的には、メンバーによる様々な連携によってエリア価値向上をより推進させるため、**組織のアップデート**を目指します。

ex)都市再生推進法人など



2. 未来ビジョン（概案） ※別紙参照

2023.12.19時点

(仮称)

買物公園エリア未来ビジョン Ver1

- 概案 -

I 未来ビジョンとはP.1
II これからの買物公園エリアを考えていくときの視点P.4
III エリアの目指す将来像P.11
IV 将来像の実現に向けた取組 P.13
V 推進体制 P.19
VI 未来ビジョン実現に向けた進め方P.20

令和6年3月

買物公園エリアプラットフォーム

3. R6社会実験（案）について

これまでにあった公共空間等の利活用に関する主な意見

○公共空間（道路空間）に関すること

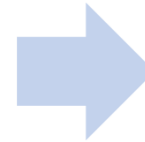
- ・ただの道路と化している
- ・買物公園とデザイン創造都市の連携が必要
- ・イケてる空間，目的となる空間になると良い
- ・公園機能と買物機能が交差する空間
- ・日常使い，日中の賑わいづくりが必要

○利用方法（道路の使用）に関すること

- ・「道路」のまま自由に使える空間にする
- ・使用許可申請の複雑さ，規制が多すぎる
- ・使用許可申請が簡単になる，規制を緩和することが必要

○移動（モビリティ等）に関すること

- ・既存交通手段と新しいモビリティの相乗効果
- ・回遊性がない，南から北までが遠い
- ・買物公園以外で自転車が走行しやすい環境づくり
- ・モビリティの導入，季節に適した路上利用できると良い



将来ありたい姿

未来ビジョン

を官民で描く



未来ビジョン実現に向けた取組として

R6社会実験

を旭川市が実施する

※新しい都市空間の提案として市が実施



エリプラ・各団体等は

実験空間の活用方法

について検討・実施

3. R6社会実験（案）について

社会実験の実施内容・効果

内容

- ・滞在できる空間を創る
- ・複数のモビリティを走行させる
- ※買物公園と周辺で適切なモビリティを選択

狙う効果

- ・滞在時間増加・回遊性と移動利便性向上
～買物公園の新しい都市空間の提案～
- ・電動KBによる中心市街地の回遊性と移動利便性向上

○買物公園の現況(課題)について

- ・来街機会や目的が乏しい
- 駅前来訪時のついでの立ち寄り先
- 大型商業施設の閉店など、目的となる施設の減少

- ・消費や滞在を促す機能の低下
- 「人が歩いて良いと感じる距離」(300m)内での移動が多く、賑わいに広がりがない

○滞在空間の設置場所について（右図①～③）

- ・滞在が集中している駅前周辺にレンタルスポット及び目的になるような滞在空間を配置
- ・駅前周辺から買物公園に人流を引き込み、歩いて良いと感じる300mを目安に、北側にも滞在空間を設置し、買物公園北エリアへの回遊を促す
- 回遊性の向上（滞在空間の適切配置）
- 滞在時間の増加



WHILL



電動カート

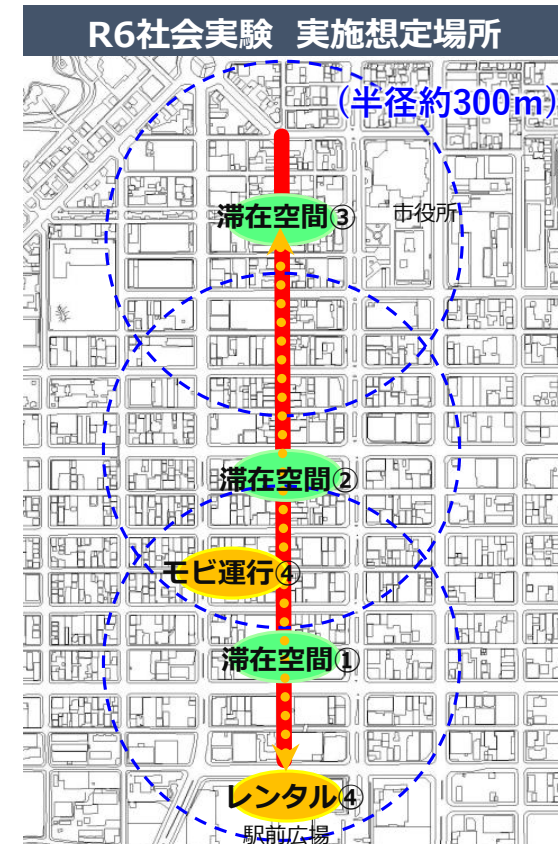
○モビリティ（移動利便）について（右図④）

- ・買物公園内を移動できるモビリティや定時運行する公共交通のようなモビリティにより買物公園での移動を促す
- ・公道を移動できるモビリティにより中心市街地での移動を促す
- 移動利便性向上（買物公園内は電動カート・WHILL）
- 移動利便性向上（買物公園外は電動キックボード）

※買物公園内は複数乗り・1人乗りモビリティによる効果の変化を確認



電動KB



3. R6社会実験（案）について

各実施箇所について

「人が歩いていても良いと感じる距離(300m)」を目安に買物公園内に滞在空間を適切に配置する

○滞在空間①【1条周辺ゾーン】

【ゾーンの狙い】

- ・滞在が集中している駅前周辺から集客し、他の実験箇所への回遊を促す
- ・居心地が良く、滞在しやすい空間を作り、滞在時間の向上
- ・使いやすい空間を配置し、キッチンカー出店や音楽演奏等、利用しやすい環境をつくる

【ゾーン特徴】

- ・交通結節点（JR・都市間バス・路線バス等の結節点）
- ・商業施設等が集積（大型商業施設、ビジネスホテル等が立地し、集客力がある）
- ・都市機能と自然空間（河川・ガーデン）が交差

【実施内容】

- ・大型設置物、人工芝（+ピクニックシート、ミニ遊具）、テーブル、イス等を配置
- ・バスキングエリア（ワンストップ申請で利用できるエリアを設定）

【ターゲット】

- ・市民、観光客（朝、夕方）、多様な世代（子育て世代（日中））

○滞在空間②【4条周辺ゾーン】

【ゾーンの狙い】

- ・周辺ワーカーの来街へのきっかけづくり、学生などのたまり場になる空間を作ることによる、滞在時間向上
- ・さんろく街と接しているゾーンの特徴を活かし、使いやすい空間を配置し、屋外バルのようなコミュニケーションが生まれる空間をつくる

【ゾーン特徴】

- ・交通結節点（路線バスの結節点）
- ・オフィスビル等が集積（市外企業の支店等が立地）
- ・「さんろく街」との接続（飲食店が集積）

【実施内容】

- ・パーゴラ、人工芝（+卓球台等）、テーブル、イス等を配置
- ・バスキングエリア（ワンストップ申請で利用できるエリアを設定）

【ターゲット】

- ・周辺ワーカー（昼休み）、学生（午後）、さんろく来街者（夜）



「バスキングエリア」とは、自由にパフォーマンスできるエリアをいい、ここでは簡単な申請で利用できるエリアを示しています。

3. R6社会実験（案）について

各実施箇所について

○滞在空間③【7条緑道周辺ゾーン】

【ゾーンの狙い】

- ・居心地が良く、滞在しやすい空間を作ることによる、滞在時間の向上
- ・周辺店舗等と連携した、滞在空間活用方法の検討・実施
- ・使いやすい空間を配置し、ポップアップショップや音楽演奏等、利用しやすい環境をつくる

【ゾーン特徴】

- ・公共施設やシティホテルが集積
- ・7条緑道、ギャラリー、文化会館等が立地
- ・個人店が多く立地

【実施内容】

- ・パーゴラ、人工芝（+ポップアップショップ等）、テーブル、イス等を配置
- ・バスキングエリア（ワンストップで利用できるエリアを設定）

【ターゲット】

- ・市民（ゾーン居住者）、宿泊者、駅前ゾーン滞在者、来街頻度が高い市民、若者



○モビリティ④【移動便利】

【モビリティの狙い】

- ・徒歩移動の壁（300m）を超える移動を促すための滞在空間配置の工夫とモビリティによる移動支援による回遊性向上
- ・滞在空間やモビリティそのものが目的となることによる、来街促進
- ・エリア内の移動利便性の向上

【実施内容】

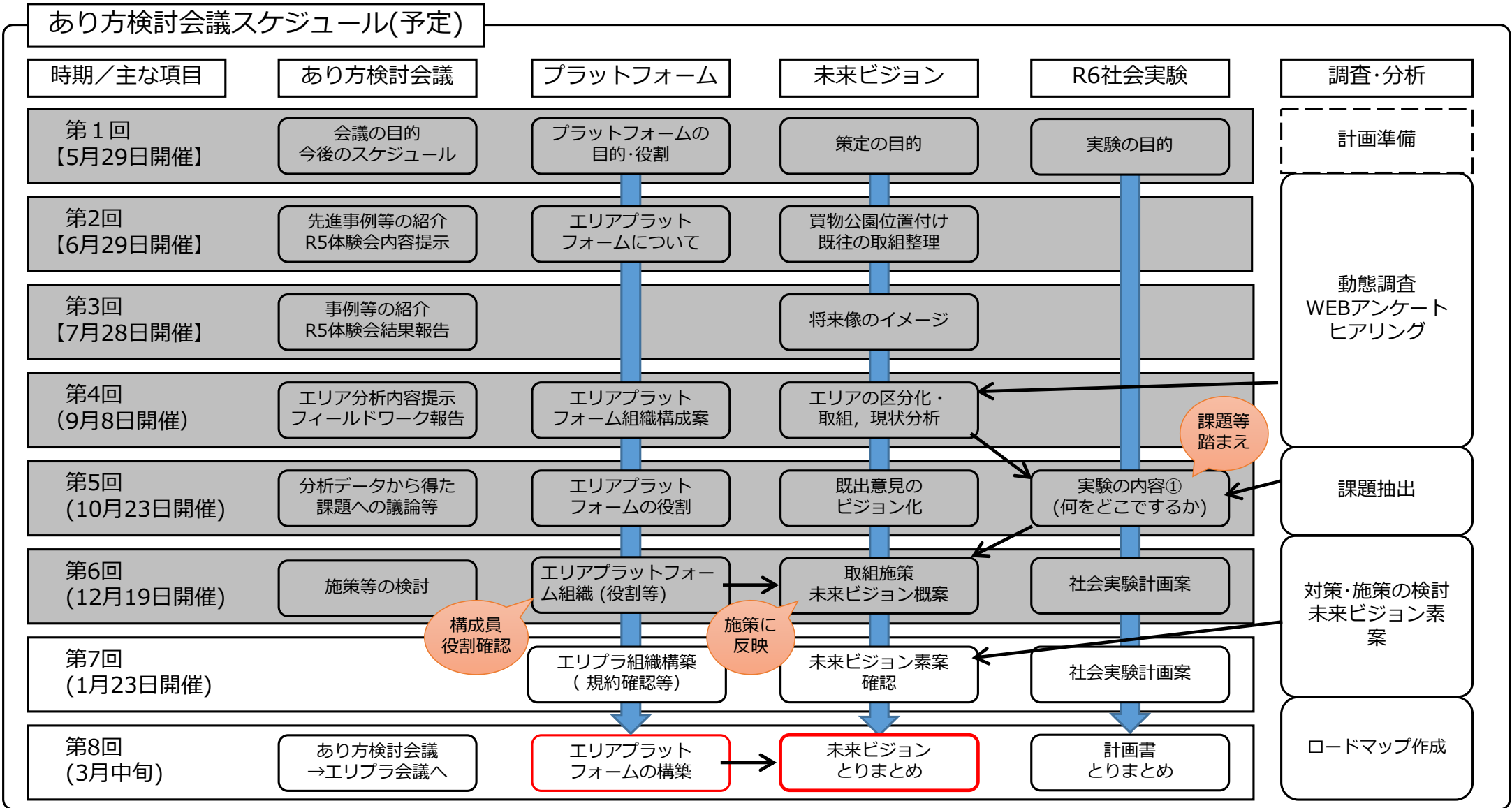
- ・モビリティレンタル（WHILL, 電動キックボード）
- ・電動カートの運行（買物公園内）
- ※電動キックボードは買物公園外の道路を走行

【ターゲット】

- ・市民、駅前ゾーン滞在者、観光客等



4. 今後のスケジュールについて



4. 今後のスケジュールについて

第6回

12月

- 【エリプラの目的・役割, 未来ビジョン（概案）・社会実験案】
1. エリアプラットフォームについて
 2. 未来ビジョン（概案） ※別紙参照
 3. R6社会実験（案）について

第7回

1月

- 【未来ビジョン（素案）確認・エリアプラットフォーム組織構築】
1. エリアプラットフォームについて
 2. 未来ビジョン（素案）
 3. 未来ビジョンの実現に向けた社会実験案について

・ ・ **エリアプラットフォーム組織構築（2月中旬）** ・ ・

第8回

3月

- 【未来ビジョンの取組・エリアプラットフォームの推進体制】
1. エリアプラットフォーム設立
 2. 未来ビジョン策定
 3. 社会実験計画書について

R6：社会実験の実施, エリプラ会議の開催 等

未来ビジョン概案
エリプラ体制

ビジョン素案・エリプラ
規約・社会実験案

ビジョン・エリプラ
設立・社会実験計画